

# 7. 木曾川河跡湖(トンボ池)の<sup>ひじりうし</sup>聖牛

土木学会選奨「土木遺産」



【撮影日時】平成25年1月16日

【撮影場所】岐阜県羽島郡笠松町

<sup>ひじりうし</sup>

『聖牛』とは、川の流れを変化させるための水制の一種で、治水に力を入れた武田信玄の時代に生まれ、江戸時代に発達しました。トンボ池の聖牛は、大正改修13年から施工されました。

太い丸太を三角錐の形に組んで川に設置されたもので、増水時に流されてきた土砂を岸側に堆積させることで、川岸を守る働きをします。

治水技術を理解する上で非常に貴重な施設であることから、土木学会推奨「土木遺産」として登録されています。